

(様式)

東日本大震災復興支援委員会分科会の設置について

分科会等名：災害に対するレジリエンスの構築分科会

1	所属委員会名	東日本大震災復興支援委員会				
2	委員の構成	会長及び会長の指名する副会長並びに幹事会が必要と認める会員又は連携会員 30 名以内				
3	設置目的	<p>日本学術会議は国際アカデミーの一員として、2012年5月10日に「G8サミットに向けた共同声明」3件を発出し、総理大臣に手交した。その一つに、わが国が直面している今後の社会のあり方に関係する「災害に対するレジリエンス(回復力)の構築」が謳われている。災害による被害を減じるとともにレジリエンス(回復力)を強化するための方策は、東日本大震災の復興に貢献するとともに、広範な災害に共通した基礎となりうるものである。本分科会では、災害に対するレジリエンスの構築に向けて系統的かつ科学的な検討を行い、今後の社会のあり方を提言するとともに、災害を経験したわが国からレジリエンスの構築に関して国際的に発信することを目的とする。</p> <p>そこで、上記共同声明に述べられている</p> <ol style="list-style-type: none">1. 継続的なリスク監視と日常的な評価のためのキャパシティビルディング(能力開発)。2. 公衆衛生システムの改善。3. 高度な情報技術(IT)の適用。4. 脆弱性を最小限にするための計画と技術、そして基準の実施。5. 開発援助プログラムへのレジリエンス能力の統合。 <p>といった課題とともに、</p> <ul style="list-style-type: none">○ 人的要素を含むこころの回復。 <p>等、東日本大震災による経験からも指摘された課題から、必要に応じて重要なものを選択して具体的な検討を行う。</p>				
4	審議事項	<p>○災害に対するレジリエンスの構築及び今後の社会のあり方の審議に関すること</p> <p>○災害に対するレジリエンスの構築の系統的かつ科学的な審議に関すること</p>				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成 24 年 6 月 22 日～平成 26 年 9 月 30 日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成 24 年 6 月 22 日～平成 26 年 9 月 30 日	常設	
時限設置	平成 24 年 6 月 22 日～平成 26 年 9 月 30 日					
常設						
6	備考					